

## 第24期第8回運営委員会報告

2008年10月9日(木) 17:30 ~ 20:50

会場：仙台市戦災復興記念館4階第3会議室

出席者(敬称略)(16名/定足数11人)：歌田久司、津田敏隆、阿部琢美、石井 守、  
臼井英之、小川康雄、河野英昭、木戸ゆかり、齋藤昭則、高橋幸弘、田口 真  
長妻 努、野澤悟徳、山本 衛、吉川一朗、清水久芳

欠席者(敬称略)(2名)：石川尚人、北 和之

### 1. 前回(第24期第7回)運営委員会議事録の承認(石井)

- ・承認された

### 2. 協賛共催関連(小川・清水)

- ・以下の2件が承認された。

(1) 共催：プラズマ科学シンポジウム2009/第26回プラズマプロセッシング研究会

主催：応用物理学会

日程：2009年2月2日から4日

場所：名古屋大学豊田講堂

(2) 協賛：第3回Asia-Pacific Radio Science Conference

主催：Japan National Committee of URSI

日程：2010年9月22日から25日

場所：富山国際会議場

### 3. 入退会審査(小川)

- ・4名の入会が承認された。

正会員(一般)1名：佐藤達彦(所属：日本原子力研究開発機構、紹介者：片岡龍峰・三好良純)

正会員(学生)3名：奥野真衣(福井工業大学、大家寛・山本衛)、佐藤隆雄(東北大学、笠羽康正・藤原均)、白石隆文(富山県立大学、岡田敏美・石坂圭吾)

- ・2名が退会した。

退会2名：大塚史子、山下哲

### 4. 会計関連報告(山本)

- ・平成19年度決算資料の確認を行った。(7月1日監査済。)
- ・平成21年度予算案が提示され、確認と議論を行った。

- ・平成 21 年度予算案について説明された点。
  - 会費収入は、昨年度と同じ納入率で計算した。総額は、正会員の増加と賛助会員の減少で、昨年度と同程度。
  - 業務委託費は、平成 21 年度は選挙関係費不要であるので、20 万円減額した。
  - 秋学会投稿システム：JACOM より値上げ希望が以前よりあり、今回は承諾する必要あり。印刷版秋学会プログラムの簡素化で、総額の減額は可能。130 万円を計上。
  - 特別会計繰出金として、大林奨励賞関係に 20 万円を支出。
  - 会報発送費は、これまでに計上されていなかった JGL の発送費を含むため、60 万円に増額した。連合と発送費についての調整が必要。
- ・平成 21 年度予算案について議論された点。
  - JICST 英文許諾使用料の扱い方について質問があった。EPS へ支出しているため、平成 21 年度予算案からは、EPS 関連特別会計として扱うこととした。
  - 分科会活動費の実情は連合大会での会合費であることから「連合大会会場費」へ名称変更することとした。
  - 連合（法人）に対し、分担金として 1 万円計上する必要がある。現案では、管理費の雑費から支出する予定。
  - 地学オリンピックへ、10 万円の寄付が募られる可能性がある、という指摘があった。（今年度は広報教育活動費より支出。）

## 5. サポートレター関連（石井）

### （1） 共同利用・共同研究拠点

・サポートレターの要請が、京大大学生存圏研究所、京都大学防災研究所、名古屋大学太陽地球環境研究所、東京大学地震研究所からあった。これら 4 機関すべてに「共同利用・共同研究拠点の認定について」の要請書を、学会から発行することが承認された。

### （2） 宇宙基本法

・JAXA/ISAS が準備している「宇宙基本法下での宇宙科学の推進について（案）」が提示された。要望書に書かれるべき内容について議論を行い、他の学会からの要望書との内容の重複については十分に留意する必要があることが指摘された。

・要望書の内容について、WGで議論することとなった。WGのメンバーは、津田副会長、阿部委員、石井委員、長妻委員、山本委員。

## 6. 学生発表賞準備状況（阿部）

・学生発表賞の準備状況として、各分野の審査員の紹介、受賞者の比率、審査会の予定が報告された。

・講演予稿を提出する際に、学生の 1/3 がオーロラメダル審査希望にチェックをつけていないことが報告された。学生の意思で審査を希望しない場合も考えられるが、賞について

の周知が不十分であることも考えられる。特に非会員の学生には学会からの情報が伝わりづらいことが予想されるので、今後は指導教員等からの周知をよびかける。

#### 7. 秋学会（第126回講演会）関連（石井）

- ・平成21年度秋学会の開催地と日程が提示された。

開催地：金沢大学角間キャンパス 自然科学研究科本館

日程：平成21年9月27日（日）～30日（水）

#### 8. 学会連合関連（高橋・石井）

・9月12日に法人化準備委員会開催が開催され、検討内容が報告された。ジャーナル関連の議論では、各学協会のジャーナルが持つ問題点が集約された。

・連合評議会が11月7日に開催される予定であり、それまでに各学協会の連合法人参加への意思を表示する。

・国際セッションの検討の提案について、議論を行った。提案では、外国人参加者がより多くのセッションに参加できるように、国際セッションへの参加と英語で開催されるセッションの増加が要望されている。数値目標はセッション数で20%（現状では5-6%）。

・国際セッション開催には、海外の研究者の招待も含めて、準備期間と財源が必要であり、簡単には増やすことが難しいという意見が出された。

・講演者が日本人のみの場合でも、外国人聴衆の参加を促すという意味で、英語セッションを開催する意義はあるという意見もあった。国際セッション開催の条件を再確認し、このような場合でも国際セッション(英語セッション)が開催できるのであれば、各コンビナーに国際セッション開催の検討を要望する。

・国際シンポジウムを連合大会期間中に積極的に行うことも考えるべきであるという意見が出された。

#### 9. アウトリーチ関連（長妻）

・衛星設計コンテストを主催しており、これから最終審査を行うことが報告された。審査員は東海大学の遠山文雄会員。

- ・10月8日に学会記者発表を行い、10月9日に新聞記事として紹介された。

・記者発表に参加したのは3社のみであった。大学を通じた案内だけでは報道機関への周知が不十分な場合があり、今後注意を要する。

- ・10月13日に開催予定のアウトリーチイベントの準備状況が報告された。

・WEBのトップページデザイン案が提示された。問題がなければ、トップページを更新する。

・キーワードのアンケートを行ったことが報告された。集計を進めており、早急に結果を開示する予定。

- ・ 今後は、各分野（太陽圏、磁気圏など）のトップページを作製し、選定したキーワードについて、説明記事を会員に依頼する。また、各分野の大学・研究所のリストを作製する。内容がまとまり次第、業者に依頼して WEB にする。

#### 10. EPS 関連（齋藤）

- ・ 科研費申請の準備中であることが報告された。

#### 11. 男女共同参画関連（田口・長妻・木戸）

- ・ 大規模アンケート調査・アンケートデータ・データベース利用についての誓約書について、誓約書を本学会から出すことを承認した。データをいかに扱うかについては、今後検討する。

- ・ 10 月 7 日に京都大学にて男女共同参画学協会連絡会シンポジウムが開催され、約 200 名が参加したことが報告された。

- ・ 秋学会での保育室の設置について、LOC の坂野井会員の尽力により、従来通りのサービスを提供できることになったことが報告された。また、保育室サービスの周知とサービス改善と目的として、「保育室アンケート」を実施中であることが報告された。今後も保育室の設置を希望しており、形態等についてWGでの議論を継続する。

#### 12. 個人情報保護方針

- ・ 男女共同参画・データベースに関連して個人情報保護方針が必要になり、また、今後このような方針は、上記以外でも必要になる可能性が高いことが説明され、本学会でも個人情報保護方針を策定することが承認された。

- ・ 今後、応用物理学会の個人情報保護方針を参考にし、策定作業を行う。策定された個人情報保護方針は、規約として制定される予定。

#### 13. 学校教育 WG 報告（北）

- ・ 高校地学関係者を対象とした冊子作成の進捗状況が報告された。冊子に対する高校教員等の意見を集め、それらを反映するように原稿を改定する。最終原稿を運営委員会で確認・承認の後、出版する予定。

#### 14. 名簿作成（小川）

- ・ 今回の名簿作成には、MMB データを利用予定であることが報告された。

- ・ 掲載情報について、議論された。今回の名簿には、自宅住所と学歴は掲載しない。また、勤務先の情報の掲載については、選択可能にする。退職等で所属のない会員で、自宅住所掲載希望者については、自宅住所を勤務先住所欄に入力することで対応する。

- ・ 情報の更新について、会員に会報で周知する。入力期限は 2009 年 1 月 31 日。

- ・ 2月から編集作業を行う。
- ・ 冊子ではなく、MMB データ自体を名簿として使うことについて、今後検討する。

#### 15. 選挙作業（清水）

- ・ 副会長、評議委員、運営委流れが説明された。今後の予定案を提示し、調整の後、了承された。

#### 16. その他

- ・ 学会記者発表について、著作権についての確認を行った。アブストラクトの著作権は学会に帰属し、また、発表者が記者発表を受け入れた時点で公表を了解したとみなすことから、著作権についての問題はない。

#### 17. 次回運営委員会開催日

- ・ 選挙後の1月末－2月初旬を予定。第24期－25期引継ぎを予定。